

# **報告書**

**令和 4 年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業  
(福島浜通りにおける映像・芸術文化を通じた地域活性化に関する調査事業)**

**令和 5 年 3 月 3 1 日**

**株式会社エーフォース**

# 事業の目的

経済産業省では、福島浜通り地域において映像・芸術文化を通じた地域活性化施策の検討・実施を今後進めていく上で、昨年7月に「福島浜通り映像・芸術文化プロジェクト」（以下「本プロジェクト」という。）を立ち上げたが、これに先駆けて、昨年3月に省内有志のチームである「福島浜通り映像・芸術文化若手チーム」（以下「若手チーム」という。）を発足している。若手チームの活動として、昨年8月には、双葉町において脚本づくり・撮影・上映を行う映画制作ワークショップの企画・運営、制作スタッフの補助等を行った。また、昨年10月には、国内外から映画関係者が集う東京国際映画祭という催事において、本プロジェクトの今後の展望につき映画監督を含めた有識者から様々ご議論いただいたが、その企画・運営、広報等を行っている。

その一方で、若手チームにはチーム員共通のビジョンやマインドセットが存在せず、イベントでの補助的な運營業務や広報事務に終始している状況である。

今回の事業では、若手チームという組織のあり方について、チーム員の思いや考えを聞き取りながら、チーム員全体でビジョンやマインドを確立し、今後チームとしてどのようなあり方が望ましいか、海外のチームアップビルディングの事例も参考にしつつ、専門的知見に基づく検討及び支援を行うものである。

# 事業の内容

## ① 若手チーム員等から個別ヒアリングおよびアンケート

若手チーム員等から10人程度選抜し、個別インタビューを実施。また、インタビューでは拾いきれない個々人の思いを拾い上げるためにアンケート調査も実施した。

## ② 1回目のワークショップの実施

①で行ったインタビューおよびアンケート調査を元に、ミッション・ビジョン策定に向けたワークショップを開催した。

## ③ 2回目のワークショップの実施

②をもとにチーム全体のビジョン等の提案を行い、提案されたビジョン等をもとに来年度以降の取組等についてディスカッション行った。

## ④ 成果報告書の作成

①～③で実施した成果報告書を取りまとめた。

## <WS 1 回目実施概要>

・日時：3/17(金) 19:00-21:00 @経産省会議室

①以下3つの問につき、個々人で回答を付箋に記載（2分×3問）

1. 若手チームを表す言葉は？

ーチーム員からの回答

フレッシュ、未熟、多様性、パッション、刺激、チャレンジ、進化、変化

2. あなたが思い描く福島浜通りの未来は？

ーチーム員からの回答

日本を代表する、Only 1、魅力の塊、光、未来、希望、人が集まる場所

3. 芸術文化がもたらす価値とは？

ーチーム員からの回答

癒し、一体感、感動、心のゆれ、新発見、うるおい、自分の見つめ直し

②付箋を類似性・関連性ごとに分類→ホワイトボードに貼る（KJ法を使用）

③分類ごとに包含するワードを記載

ー以下のワード等が浮上

「不完全」、「実力派」、「心のゆれ」、「希望」、「スクラップアンドビルド」、  
「未知の可視化」、「見つめ合う」、「熱源」、「多様性」



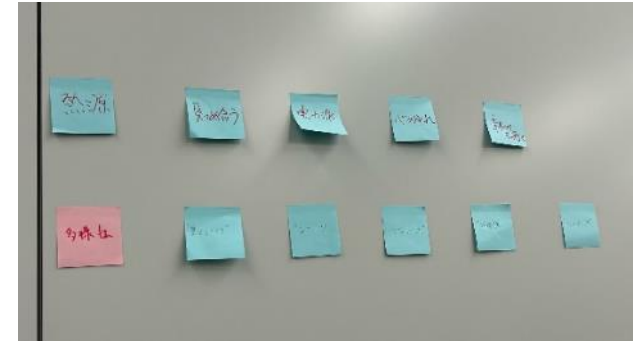
## <WS 2回目実施概要>

### ①前回の実施内容について共有

### ②分類ごとに浮上したワードから若手チームにとって大切だと思うワードを投票

→以下の11個のワードが残る。(右写真)

「熱源」、「見つめ合う」、「実力派」、「心のゆれ」、「未知の可視化」  
「多様性」、「集まるところ」、「ユニーク」、「コンパス」、「可能性」



### ③選んだ理由についてそれぞれ意見交換

「熱源」：自分たちに熱があることを端的に表す。福島を熱源にしたい。

「見つめ合う」：見ること、知ることによって福島への印象が変わっていく。

「実力派」：仕事をしっかりする、職人集団でありたい。いぶし銀。

「心のゆれ」：若手だけど繊細である様子。人の心を動かしたい。地元からのプレッシャー。

「未知の可視化」：このプロジェクトは見えないものを見てみたいというモチベーションでやっている。

「多様性」：有志だからこそ多様性があり、継続的に続いていく組織になる

「集まるところ」：人、ものが集まっていくことがこのプロジェクトの目的の1つ。

「ユニーク」：多様性と反する一方で、3つのテーマ（若手、福島、芸術）にそれぞれ当てはまる

「コンパス」：無垢。なんにでもなれる。ここからどこにでも行ける。道を拓く

「可能性」：3つのテーマ（若手、福島、芸術）にそれぞれ当てはまる



### ④11個のワードを類似性・関連性ごとに分類→再投票

→以下の3つのワードが残る。

【見つめ合う】、【心のゆれ】、【未知の可視化】

# 事業実施成果

- ・若手チームにとって重要なファクター（若手、福島、芸術）に共通するキーワードを発見し、チーム員で共有を行った。
- ・「若手チームが切り拓く→芸術、福島を見る→心を動かす→心を動かされた人がまた切り拓く」というビジョン（ストーリー）の提案を行った。
- ・このキーワードをもとにチーム名や個々人の行動指針等について引き続き検討していく。

## <若手チームのビジョンにとって重要な3つのキーワード>

### 【見つめ合う】

- ・「福島を見る・知る、地元の人から見て知ってもらう」という想いは、チームの現在や将来のあり方となり、今後立ち止まった時に考える指針になる
- ・官僚である自分たちが見る⇔官僚としてではなく一人の人間として見る
- ・根底には承認欲求がある。見つめ返してほしい、認められる組織になりたい

### 【心のゆれ】

- ・「揺れ」は海や水面の波を連想させる。心を動かす行動を取り、それを連鎖させたい。

### 【未知の可視化】

- ・福島の可能性を拡げることこそこのチームに参加する意味。野心を持って切り拓きたい。